

## 新宮町×福岡工業大学 福工大ラグビー部 53名が 新宮海岸の清掃活動を実施しました

福岡工業大学の強化クラブであるラグビー部は、九州学生リーグに所属している 1965 年に創部された伝統のあるチームで、今まで支えていただいている地域への感謝の気持ちから、積極的に地域のボランティア活動に参加しています。

12月11日(土)、ラグビー部53名は、本学の寮が所在するなど深く関わる地域である新宮町の新宮海岸で清掃活動を実施しました。今回の活動は、ラグビー部から新宮町環境課に何か地域貢献活動でお役に立てることが無いか問い合わせたことで実現しました。

この日は筑前新宮に白砂青松を取り戻す会・町議会議員・町職員 99 名による新宮海岸の楯の松原保全活動も開催されており、開会式に福工大ラグビー部も参加。開会式では、新宮町の長崎町長と町議会の牧野議長のあいさつの後、本学ラグビー部を代表して今村彰吾さんが、清掃の意気込みを表明しました。

開会式を終えた楯の松原保全活動チームと、本学ラグビー部の新宮海岸清掃チームは、それぞれの持ち場に分かれて活動をスタート。ラグビー部は宮浦監督指導の下、この時期漂着物も多くゴミが多い海岸を清掃し、回収しても次々に出てくるごみに驚きながら2時間の清掃活動に汗を流しました。

活動を終えて、宮浦監督は「コロナウィルス感染症拡大の影響で、この2年間は「新宮町クリーン作戦」など新宮海岸の大規模な清掃が行われておらず、海岸はゴミで汚れていました。今後、定期的に清掃を行っていかねばならないと痛感しました。」と話しました。

(ラグビー部、社会連携室)

